



令和6年11月
富士市立幼稚園

絵本の読み聞かせ

言葉が育つ土台には、規則正しい生活、十分な運動、そして情緒の発達があります。読み聞かせは子どもの情緒や想像力を育て、言葉を覚える機会にもなります。また、わかる言葉が増えると、考える力が育ち、人に関わろうとする気持ちも育ちます。

今回は、正しい言葉で話ができるようになるためにも、絵本が良い理由をお伝えします。

正しい言葉で話ができるようになるためには

1. 音を正しく聞き分ける力が育つ
2. わかる言葉が増える
3. 社会性が育つ
4. 口が思い通りに動かせるようになる

参照：文部科学省 ホームページ



🔗 これらの育ちを期待できるのが、「絵本の読み聞かせ」と会話です。

音を正しく聞き分ける力について

音を聞き分ける力にも発達順序があります。まず、他の人が言う言葉を聞き分ける力が育ちます。(例えば「だっこ」と言った？「らっこ」と言った？「いし(石)」かな？「いち(1)」かな？)次に、自分の言う言葉を聞き分ける力が育ちます。

幼児は、聞き取る力も発達途上です。ゆっくり、はっきり話してください。子どもが、象の絵を指さして「どうたん」と言った時は、「そうね」と言葉と気持ちを受けとめた後に「ぞうさんね」と正しい言葉を伝えてほしいと思います。

「子どもに正しい言葉を伝える」ことが大事です。



読み聞かせの時間をつくりましょう

生活のリズムに絵本の読み聞かせの時間を加えてください。例えば、食後や寝る前に必ず1冊読む習慣にしているかがですか？

最近では、絵本を読んでもくれるアプリがありますが、お家の方の声が一番心地よく、子どもの心に届きますよ。